

盛岡誠桜(女子) 5連覇

男女 上位 胆江出身選手が活躍

県高校新人バレー

第61回県高校新人バレーボール大会は24日、一関市総合体育館などで行われ、男子は盛岡南が2年ぶり16回、女子は盛岡誠桜が5年連続16回目の優勝に輝いた。胆江勢で



女子は盛岡誠桜が5連覇。得点を決め喜ぶ土谷紗季主将(2年、金ヶ崎中出)

は男子の水沢、水沢工の3回戦進出が最高成績。男女の上位2チームは、来月宮城県で開かれる東北大会に出場する。

大会には男子34校、女子45校が出場。4ブロックに分かれたベスト4決定トーナメント、決勝リーグで上位を争った。

男子は決勝リーグで盛岡南がフルセットを確実にものにする粘り

強い試合運びで全勝優勝。堀籠力斗主将(2年、水沢南中出)ら胆江出身選手が多い不来方2位で東北切符。同じく胆江出身選手の多い一関修紅は惜しくも3位となった。

女子は試合経験豊富な選手がそろった盛岡誠桜が、決勝リーグを全勝。ベスト4トーナメントから決勝リーグまですべてストレート勝ちを収め、本県第1代盛岡南2-1一関修紅

一関修紅2-0盛岡三不来方2-0一関修紅 不来方2-0盛岡三盛岡南2-0不来方 盛岡南2-1盛岡三

水沢工2-0久慈東 水沢工2-0大槌 水沢工2-0水沢工 千 既2-0水沢工 花巻東2-0水沢工

一関修紅2-1千 既 盛岡南2-0花巻東 盛岡南2-0黒沢尻工 不来方2-0盛岡一

5連覇を達成した盛岡誠桜の主将は、金ヶ崎中出身の土谷紗季(2年)。セッターとして迫力十分な攻撃陣に多彩なトスを供給。優勝を決めた高田戦では「ブロックを振って1枚にしよう」と相手をよく見たボールコントロールで、高田を25

12、25-19と寄せ付けなかった。じん帯損傷で半年間も試合から離れる苦しい時期を過ごした昨年。現在は完全に復調し、主将として強豪チームをまとめる。「練習以外のところでも頑張ってきた成果は出た」と今大会の内容に

笑顔をのぞかせた。メンバーには千枝華恋(2年、金ヶ崎中出)、小野寺ひかり(2年、小山山中)と同じ地元出身者もおり呼吸も抜群。「東北大会では、もっとコンビを使った攻撃を」。さらなる上を見据え猛練習を誓う。

一関修紅2-0盛岡三 不来方2-0一関修紅 不来方2-0盛岡三 盛岡南2-0不来方 盛岡南2-1盛岡三

水沢工2-0久慈東 水沢工2-0大槌 水沢工2-0水沢工 千 既2-0水沢工 花巻東2-0水沢工

一関修紅2-1千 既 盛岡南2-0花巻東 盛岡南2-0黒沢尻工 不来方2-0盛岡一

一関修紅2-0盛岡三 不来方2-0一関修紅 不来方2-0盛岡三 盛岡南2-0不来方 盛岡南2-1盛岡三

水沢工2-0久慈東 水沢工2-0大槌 水沢工2-0水沢工 千 既2-0水沢工 花巻東2-0水沢工

けが克服し再始動

盛岡誠桜・土谷主将

12、25-19と寄せ付けなかった。じん帯損傷で半年間も試合から離れる苦しい時期を過ごした昨年。現在は完全に復調し、主将として強豪チームをまとめる。「練習以外のところでも頑張ってきた成果は出た」と今大会の内容に

笑顔をのぞかせた。メンバーには千枝華恋(2年、金ヶ崎中出)、小野寺ひかり(2年、小山山中)と同じ地元出身者もおり呼吸も抜群。「東北大会では、もっとコンビを使った攻撃を」。さらなる上を見据え猛練習を誓う。



男子優秀選手の不来方・堀籠力斗主将(2年、水沢南中出)

一関修紅2-0盛岡三 不来方2-0一関修紅 不来方2-0盛岡三 盛岡南2-0不来方 盛岡南2-1盛岡三

水沢工2-0久慈東 水沢工2-0大槌 水沢工2-0水沢工 千 既2-0水沢工 花巻東2-0水沢工

一関修紅2-1千 既 盛岡南2-0花巻東 盛岡南2-0黒沢尻工 不来方2-0盛岡一

一関修紅2-0盛岡三 不来方2-0一関修紅 不来方2-0盛岡三 盛岡南2-0不来方 盛岡南2-1盛岡三

優秀選手 伊藤なのは、白木澤瑠里、土谷紗季(盛岡誠桜)、古澤美悠、鈴木萌佳(高田)、佐々木奏織(盛岡二)、稲葉夏海(盛岡三)、柳沢あやね(盛岡市立)、小野寺咲希(花巻南)、高橋芽衣(花巻東)、佐藤奈央(大船渡)